2027 年度（第 19 期）
トビタテ！留学 JAPAN　新・日本代表プログラム
駒澤大学　学内募集要項

2027 年度（第 19 期）官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム～募集要項に従い、下記の通り、駒澤大学内における取りまとめを行います。申請は「個人」単位となりますが、学内において申請プログラムや申請書類の確認を行った上、日本学生支援機構（以下、機構）に申請書類を提出します。

※本学では、学部 1 年次での学修機会を大学における基礎固めの重要な時期と位置づけ、2027 年 4 月入学の学部 1 年生を対象とした「大学 1 年生枠」の募集は行いません。

1．募集要項

募集の趣旨、要件等の詳細は、公式ウェブサイトの「募集要項」ページから、「募集情報」、「応募の手引き」等を必ずお読みください。（参照 URL： https://tobitate-mext.jasso.go.jp/newprogram/uv/ ）

2．本学からの応募に関する注意事項（重要）

【留学先所在地の安全情報について】

本制度においては、外務省の「領事サービスセンター（海外安全相談班）」の情報提供サービス等における「海外安全ホームページ」上、危険情報及び、感染症危険情報「レベル２：不要不急の渡航は止めてください。」以上に該当する地域へは応募できません。なお、応募時点で受入れ機関の所在地が「レベル２」以上であっても選考に差し支えありません。ただし、留学開始時点又は留学中に「レベル２」以上となった場合は、原則として、奨学金の支給対象外となります。また、危険レベルによる渡航可否の判断については、機構が定める基準が変更となった場合でも、本学が定める派遣可否の判断基準に従っていただきます。本制度に採用された場合でも、留学開始までに危険情報が基準値以下に引き下げられない場合や、留学中の安全確保が困難であると本学が判断する場合は、留学の延期または計画の見直しを求めることがあります。また、留学準備にかかる費用はすべて応募者の自己負担となり 、いかなる場合でも本学で負担はいたしませんので、予めご了承ください。

【本学の授業期間と留学期間が重複するプログラムでの応募について】

本学の授業期間と重複するプログラムで留学する場合は、該当する期間は「休学」する事となります。残り卒業必要単位数の有無に関わらず、授業期間中に休学手続きを行わず留学する事は駒澤大学では認められません。該当する方は、休学手続きや休学を踏まえた履修計画等について、必ず応募前に教務部でご確認ください。ただし、文学部地理学科の学生は「海外研究 A～D」、グローバル・メディア・スタディース学部の学生は「海外演習実践講座Ⅰ～Ⅲ」の手続きを行う事で、在籍扱いとなる場合があります。詳しくは、シラバスまたは履修要項にてご確認ください。

3．応募方法

本プログラムへの応募は下記①～④の通り実施してください。※応募にかかる全てのメール連絡は、KOMAnet Gmail アドレスへ送られますので、応募後は KOMAnet Gmail アドレスをこまめにチェックしてください。

① 申請書類提出：　～ 2027 年 1 月 15 日（金）正午まで　※期日厳守

◎以下の書類を、国際センターにメール添付にて提出してください。

1）トビタテ！留学JAPAN　新・日本代表プログラム（第19期）申込書兼家計状況調査（大学HPよりダウンロード）
2）2025年1月～12月分の家計収入を証明する書類（課税証明書または非課税証明書）
※ 収入がある方全員分の書類が必要です（きょうだい分は不要です）。
※ 書類の不備や不足がないよう、申請者本人が責任を持って書類を確認してください。
【宛先】tobitate@komazawa-u.ac.jp
【件名】トビタテ第19期申請書＿学生番号＿氏名

【重要】「家計状況調査票」及び「収入を証明する書類」について

トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラムでは、原則として機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を満たすことが本制度で支援する派遣留学生の要件の一つとなっています。ただし、家計基準を超える場合であっても応募することができます。多様な留学計画の支援という観点から、支援予定人数全体の１割程度を上限に、家計基準を満たす者とみなして採用があります。収入・所得の目安は、機構のＨＰをご参照ください。

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/kakei/zaigaku/index.html

- 給与所得者：源泉徴収票の支払金額（税込）、給与所得以外：確定申告書等の所得金額（税込）が対象です。
- 学部生の場合は、世帯人員、就学者の有無等によって異なりますが、家計支持者（父母または父母がいない場合は代わって家計を支えている人）の収入金額が対象です。
- 大学院生の場合は、本人の収入（定職、アルバイト、父母等からの給付、奨学金等）と配偶者の定職収入金額

の合計額が対象です。
- 第二種奨学金の家計基準を満たすかどうかは、提出された「収入に関する調査票」及び「収入を証明する書類一式」に基づき、国際センターにて判定します。家計基準については、「出願時現在における家計の収入状況が一年間続いた場合」を想定して判断いたします。
- 2025年1月2日から出願時点までに就職または転職した場合、雇用形態が変更された場合（退職を含む）は、「給与支払い・見込証明書」の提出をしてください。

※「収入を証明する書類」は入手に時間を要する可能性がありますので、早めに入手手続きをしてください。

② 大学から家計基準の判定結果を受け取り、留学計画について国際センターへ相談開始

上記①完了 ～ 2027年1月15日（金）17：00まで

上記①完了後、順次KOMAnet Gmailにて、家計基準の判定結果をお知らせいたします。応募内容の詳細が公開されるまでは、判定結果お知らせ時に併せてお送りする応募フォームのサンプルにて留学計画を検討してください。■応募要件のチェック ■留学計画の考案 ■受入先機関へのコンタクト ■自由記述書の作成 などを開始してください。

③ 留学計画書を応募システムから国際センターへ提出

2026年12月7日（月）～ 2027年1月22日（金）AM9：00まで

上記②完了後、12月上旬に公開される応募システムにて、申請に必要な項目を記入のうえ送信を完了してください。

※申請後はシステム上で編集ができなくなりますのでご注意ください。また、この段階で、実践活動先となる機関または留学エージェントとの受入状況の進捗を確認しますので、8割程度の完成を目指してください。

④ 国際センターから応募者へ留学計画書の添削・アドバイジング結果の差し戻し

上記③完了 ～ 2027年2月5日（金）17：00までに応募者へ順次ご連絡予定

上記③完了後、国際センターによる添削・アドバイジング結果（差し戻し内容）を確認してください。連絡はKOMAnet Gmail で通知されますので、こまめにメールをチェックし速やかに確認してください。

留学計画書の指導は下記要領に従います。

- **留学計画書の指導を受ける前に、必ずP４以降の『【駒澤大学版】留学計画書の作成について』を熟読ください。**
  留学計画を立てる上で必要な情報が記載されています。
- 必要情報が記載されているか、留学計画は熟考されているか（実現可能か）、相手に伝わるわかりやすい文章を心がけているか等について確認しアドバイスやフィードバックをします。合格を保証するものではありません。

⑤ 留学計画書システム入力期間

上記④確認後 ～ 2027年2月14日（日）まで

国際センターがシステム上で差戻し処理をいたします。その後、システム上で編集が可能になり次第、上記④の結果から再度検討した内容にて、システム上で必要事項の申請作業を行ってください。

※上記④から大幅に内容が変更（留学先国・地域や期間など）される場合は、予め国際センターへ連絡・相談してから編集を行ってください。

⑥ 留学計画の最終修正期間（対象者のみ）

国際センターからの差し戻し連絡後 ～ 2027年2月18日（木）AM9：00まで

上記⑤完了後、国際センターにより申請内容の最終チェック（誤字・脱字程度）を行います。必要に応じて応募者に連絡いたしますので、期間内に修正のうえ、再度申請を完了させてください。なお、上記⑤以降は、原則として変更は認めません。ただし、国際センターにて修正が必要と判断した場合に、再度差し戻しをすることがありますので、その場合は速やかに応じてください。

4．本制度への応募に係る相談

- 留学計画書の内容について事前相談や指導を受けてください。留学計画の指導を受けていないものや期間を過ぎて提出されたものは、いかなる理由でも応募を受け付けません。
- **本制度への応募に係る相談は、留学相談室での個別相談、もしくは下記「問い合わせ先」メールアドレスへのメールにて受け付けます。（電話でのお問い合わせはご遠慮ください）**
- お問い合わせ内容によっては、機構やトビタテ事務局への確認により、返信に時間を要する場合があります。締切り直前にお問い合わせいただいても対応できない可能性があります。**申請に係る問い合わせは早めに行ってください。**

5．学内募集説明会

2026 年 12 月 4 日（金）12：15～12：55 3−202 教場

※トビタテ事務局では、説明会やトビタテ OB/OG による相談会も実施予定です。応募予定の方は、トビタテ HP を随時チェックし、積極的にご参加ください。

※説明会への参加と併せて、トビタテ HP の「よくある質問」も確認してください。

問い合わせ先

- **留学相談室（駒沢キャンパス１号館１階　国際センター内）**
  月～金（祝日・全学休業日を除く）10:00-13:00／14:00-17:00
  ※ 12 月最終開室日は 12/21(月)！年始は 1/6(水)～開室。今学期最終開室日は 1/22(金)！
  1/23 以降の相談は、国際センター事務室へお問い合わせください。
  ※ 個別相談は事前予約が必要です（**予約は右の QR コードから**）

- **国際センター事務室（駒沢キャンパス１号館１階）**：tobitate@komazawa-u.ac.jp
  月～金（祝日・全学休業日を除く）10:00-12:30／13:30-17:00
  メールの場合は、件名を必ず【トビタテ 19 期、氏名、学生番号】とすること。送信元不明の場合は回答不可。
  ※ 12/25(金)～1/4(月)は全学休業期間のため、お問い合わせへの返信は 1/5(火)以降となります。

【駒澤大学版】留学計画書の作成について

トビタテ！留学 新・JAPAN 日本代表プログラムの最大の特徴は、留学計画を自分自身で考え、実現に向けて進めていくことです。従来の交換留学や大学で実施しているプログラムの枠にとらわれず、自身の将来の目標やビジョン実現に向けた留学を計画することができます。ただし、留学計画に①受入先機関があること、②実践活動が含まれていること、③安全性の確保が確認できる計画であること、を大学が承認する必要があります。

① 留学計画書を作成する

トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム募集要項でプログラムの目的や主旨を理解し、学内提出物やスケジュールを大学が公開する募集要項で確認してください。

過去に駒澤大学から本制度に合格された方の留学計画書を、国際センターで閲覧できます。ただし、応募内容やコースについては、第 14 期以前の旧制度のものが中心となりますのでご注意ください。

② 応募するコースを選択する　※大学の所属分野ではなく留学計画の分野でコースを選択

コース	2027 年度 支援予定人数	支援する留学計画
イノベーターコース	50 人	自ら課題を設定し、解決に向けて新たな知識や技術の獲得、能力の向上を目指す等、試行錯誤を繰り返し、独自の構想力をもって既存の枠組みを超えた新たな価値を創造しようとする（ゼロをイチにする様な）挑戦的な留学計画 <挑戦例> ・新たな社会の在り方を模索する計画 ・新たな産業、事業、技術、商品・サービスを生み出そうとする計画 ・グローバル・サウスにおける挑戦的な計画
STEAM コース	100 人(※)	日本及び世界の社会課題解決のための技術革新や新産業創出に貢献する STEAM（Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics）領域における留学計画 <留学分野例> 1．環境・エネルギー分野 2．ライフサイエンス分野 3．ナノテクノロジー・材料分野 4．情報通信分野 5．社会技術・社会基盤分野 ※例示以外の AI や量子コンピューティング等の先端技術分野や融合系分野等の留学計画であっても応募可能です。また、芸術・デザイン・人文社会系との融合（デジタルアート、映像制作、メディア表現等）も含まれます。
ダイバーシティコース	100 人	派遣留学生の専門領域における課題解決に取り組む留学計画。スポーツ、芸術、人文学、社会科学、総合知領域等を含む多様な領域の留学計画を支援します。

③ 書類審査や面接で問われるポイントを確認

【ポイント①】　自分の夢や留学への想いを、「自分の言葉」で表現できているか

あなたは、なぜ留学したいと考えましたか。挑戦したいことは何ですか。その目的は何ですか。なぜ、あなたが日本代表に選ばれる必要がありますか。自分自身を見つめ直し、自分にしかないエピソードを語りましょう。

【ポイント②】　留学の目標・アウトプットが明確に設定できているか

達成したい目標はありますか。実現したいアウトプットは何ですか。どうしたらそれを「達成できた」といえますか。客観的にみても評価ができる、留学のゴールを設定しましょう。

【ポイント③】　実践・挑戦的な活動内容が盛り込まれているか

座学だけではない、「実社会との接点」を意識した活動内容が含まれていますか。その活動は、留学を通して得たいことや将来の目標につながるものになっていますか。

ここで言う活動とは、例えばフィールドワーク、ボランティア、インターンシップなど、実践経験を前提とした活動内容を指します。受入れ機関は未定でも構いませんが、必ず具体的な内容を盛り込みましょう。

【ポイント④】　留学経験をどのように社会へ還元できるか

この奨学金は、留学することを最終目的としたものではありません。あなたの留学経験を、どのように世の中に発信し、どんなインパクトを与えることができますか。

【ポイント⑤】　留学計画を実行する意欲と意思が伺えるか

留学計画のための情報・スケジュールは徹底的に調査しましたか。いわゆる「机上の空論」、「理想論」になっていませんか。実現するために必要なこと、しっかり理解できていますか。計画というのは思っているより順調に進まないものです。万が一うまく計画が進まなかった場合の代替案も熟考しましょう。未定でも構いませんが、応募時に少なくとも、1）留学期間（開始日～終了日）2）国・地域・都市名 3）受入先機関名やＨＰ、のリサーチができていないと申請は難しいです。応募時に受入先から内諾が得られており、その証明（内諾通知やメール）が可能な場合は、審査時に加点の対象となります。

④　自由記述申請書の記入ポイント

【ポイント①】　なぜ留学に行く必要があるのか。留学によってどんな自分になりたいのか

- 現在あなたはどんなステージにいますか。留学した後はどこに向かいますか。
- その留学先（国・受入れ機関）である必要は何ですか。
- そもそも、本当に留学しないと実現できないものですか。

【ポイント②】　自分の過去のエピソード（特に困難を克服した経験など）を明確に語る

- 過去に遭遇した困難について明確に語ることができますか。
- その困難はどのように克服しましたか。
- そのときどう感じましたか、また自分に変化はありましたか。
- それをどのように留学に活かしますか。

【ポイント③】　このプログラムに対して自身がどのように貢献できるか

- あなたが日本代表に選ばれることで、このプログラムにはどんなメリットがありますか。

【ポイント④】　他の応募者と比較してなにが異なるか。なぜ自分が選ばれる必要があるのか

- 自分自身のことは、分かっていそうで案外分かっていないものです。まずは徹底的に自己分析を行い、自　　分の生い立ちを明確にしてみましょう。そうすることで、過去の人生の様々な分岐点が見つかるはずです。　　あなたは、それぞれの分岐点で何を考え、何を感じましたか。そして、なぜその道を選択したのでしょうか。時間をかけてじっくり考えてみましょう。
- そうして浮かび上がったエピソードを人（親・兄弟・恩人・友人）に話すことも大切です。別の視点で指摘してくれるかもしれません。
- 自分だけのエピソードと日本代表に選ばれる必要がある、という熱意を自分自身のコトバで明確にしましょう。

⑤　その他、全体的なポイント

- 審査員はあなたの留学計画書だけを読んでいるわけではありません。数十件以上の審査を担当しますので、一目見て伝わるよう体裁を整えましょう。
  （例）フォントには**太字**・下線を使用、改行をうまく活用する。
  　　自由記述申請書は、図・写真・グラフを効果的に取り入れる。（文字だけにならないように）
- 専門用語ばかりになっていませんか。審査員はあなたの専門分野を理解している方とは限りません。
- 誤字脱字は論外です。徹底的に確認しましょう。
- トビタテ！ホームページの「よくある質問」を確認しましょう。

トビタテ！留学ＪＡＰＡＮ　新・日本代表プログラム　問い合わせ先

- **留学相談室（駒沢キャンパス１号館１階　国際センター事務室内）**
  月～金（祝日・全学休業日を除く）10:00-13:00／14:00-17:00
  ※ 12 月最終開室日は 12/21(月)です。年始は 1/6(水)～開室。今学期最終開室日は 1/22(金)！
  　1/23 以降の相談は、国際センター事務室へお問い合わせください。
  ※ 個別相談は事前予約が必要です（予約は右の QR コードから）

- **国際センター事務室（駒沢キャンパス１号館１階）**：tobitate@komazawa-u.ac.jp
  月～金（祝日・全学休業日を除く）10:00-12:30／13:30-17:00
  メールの場合は、件名に必ず【トビタテ 19 期、氏名、学生番号】と記載すること。送信元不明の場合は回答不可。
  ※12/25(金)～1/4(月)は全学休業期間のため、お問い合わせへの返信は 1/5(火)以降となります。